

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	環境分野の研究開発の推進		担当部局庁	研究開発局	作成責任者	環境エネルギー課長 篠崎 資志		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～未定		担当課室	環境エネルギー課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-3 環境分野の研究開発の重点的推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境分野の研究開発を効率的かつ円滑な推進を目指し、以下の取組を実施する。 ①地球科学技術に関する各国の研究成果、活動の情報交換を行い、文部科学省における環境分野の研究開発を効果的かつ円滑に推進する。 ②国際共同研究への分担金拠出等についての日本学術会議の勧告(平成2年第109回総会、平成11年第130回総会)を踏まえ、地球システムを制御する物理的、化学的、生物的相互作用の諸過程の研究を通じて地球システムの解明を図る国際共同研究計画を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①環境分野の研究開発を効率的かつ円滑に推進するため、研究成果等の情報交換、他国との間で討議を行う国際会議への出席及び国内推進会議を実施する。更に、地球環境問題等に関する科学的知見の充実に資するため、地球環境科学技術を推進する観点から地球環境問題に関する国際会議に参加するほか、関係省庁や有識者による国内推進会議を開催する。 ②各国政府等からの拠出金により、地球圏・生物圏国際共同研究計画(IGBP)事務局が、各国の研究者の参加を得て、研究内容や国際協力の調整等を行いながら、国際共同研究計画を進めている。研究計画には、8つのコアプロジェクト(地球大気化学国際共同研究、全地球海洋フラックス合同研究、地球変化と陸域生態系合同研究、海洋・大気間物質相互作用、沿岸域における陸域-海域相互作用、土地利用・被覆変化研究、全球海洋生態系動態研究、古環境の変遷研究)があり、世界中の研究機関、関連研究者が連携を取りながら研究活動を実施。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		38.3	27.6	31.2	31.3	
		繰越し等		0	△0.1	0		
		計		38.3	27.5	31.2	31.3	
	執行額			31.6	27.3			
	執行率(%)			82.5%	99.2%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (なし)
	国際共同研究計画の進捗状況			地球システムの解明のため、地球科学技術に関する8つのコアプロジェクトについて関連研究者が連携を取りながら国際共同研究計画を推進しており、研究の成果がIPCC等に対し反映されるなど気候変動に係る研究に貢献している。				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	拠出金の支払い			件	—	1	1	—
	地球環境研究開発推進に関する国内推進会議の開催			—	—	7回(8回)	5回(8回)	(8回)
	地球環境研究開発推進に関する国際会議への出席			—	—	14回(12回)	14回(12回)	(15回)
単位当たりコスト	52(千円/回)		算出根拠	地球環境研究開発推進に関する国内推進会議の開催に関して。執行額/開催回数=261千円/5回				
	713(千円/回)			地球環境研究開発推進に関する国際会議への出席に関して。執行額/出席回数=9986千円/14回				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	0.8百万円	0.8百万円	地球環境研究の推進にあたり参加の必要がある国際会議の増加に対応した。				
	諸謝金	0.1百万円	0.1百万円					
	職員旅費	3.1百万円	8.2百万円					
	委員等旅費	3.8百万円	6.3百万円					
	庁費	15.6百万円	8.0百万円					
	地球圏・生物圏国際共同研究計画拠出金	7.8百万円	7.8百万円					
計	31.2百万円	31.3百万円	※単位未満四捨五入のため、積み上げと合計は一致しない。					

事業所管部局による点検							
		項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地球観測に関する政府間会合(GEO)への参加や地球環境行動会議の開催等の経費で構成されており、いずれも国が直接実施すべきものであり、優先度の高い事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	地球環境研究開発推進に関する国際会議の出席に必要な外国旅費の執行にあたっては、航空賃の見積りを複数社から取得する等、コスト削減に努めている。また、国内推進会議の開催にあたっては、省内会議室を使用することにより会場借用にかかるコストを削減している。環境分野の研究開発を推進するために必要な経費に限定されている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理を実施している。執行にあたっては、上記のようなコスト削減に努めるなどして、限られた予算の中で実効性の高い運用を行っている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点検結果	地球観測に関する政府間会合(GEO)への参加や地球環境行動会議の開催等の経費で構成されており、いずれも国が直接実施すべきものであり、優先度の高い事業である。環境分野の研究開発を推進するために必要な事務経費の執行にあたっては、コストを削減を行い、必要な経費に限定している。本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理を実施している。執行にあたっては、上記のようなコスト削減に努めるなどして、限られた予算の中で実効性の高い運用を行っている。						
外部有識者の所見							
外部有識者による点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
事業内容の改善	<p>1. 事業の評価の観点:この事業は、地球システムの解明を図る国際共同研究計画を推進するため、地球圏・生物圏国際共同研究計画(IGBP)事務局に対して拠出金を拠出、環境分野の研究開発を効率的かつ円滑に推進するため、研究成果等の情報交換、他国との間で討議を行う国際会議への出席及び国内推進会議を実施するものであり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:当該事業は、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、更なる事業の効率化を目指し、契約の競争性のさらなる向上を図るなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
執行等改善	上記の所見を踏まえ、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、本事業実施に際して見積り合わせを行うなどして、契約の競争性のさらなる向上及び単位当たりのコスト削減に努める。また、地球環境研究の推進にあたり参加の必要がある国際会議の増加に対応した。						
備考							
第4期科学技術基本計画 http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/afieldfile/2011/08/19/1293746_02.pdf							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	-	平成23年	新23-0055	平成24年	293	

文部科学省
27.3百万円

- ・ 非常勤職員手当 0.3百万円
 - ・ 諸謝金 0.1百万円
 - ・ 職員旅費 6.0百万円
 - ・ 委員等旅費 4.5百万円
 - ・ 庁費 8.6百万円
- ）を含む

地球環境問題等に関する研究開発の推進事務



【拠出金】

A.
地球圏・生物圏国際協同研究
計画(IGBP)事務局
7.7百万円

地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)拠出を行う。

※単位未満四捨五入のため、積み上げと合計は一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)事務局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)への拠出金	7.7			
計		7.7	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	地球圏・生物圏国際協同研究 計画(IGBP)事務局	地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)への拠出金	7.7	—	—